

日本の孤独・孤立対策のあり方
—イギリスの取り組みから得られた示唆—

○同志社大学 氏名 国儒 (009807)

キーワード3つ：社会的孤立 対策 イギリスの取り組み

1. 研究目的

2020年から、新型コロナウイルス感染症が世界中で流行することに伴い、これまでの社会環境の変化等により孤独・孤立問題が深刻化している社会において、内在していた社会的孤立問題がコロナ禍により顕在化してきた。こうした状況のもと、2021年1月に、孤独対策を検討する勉強会が開催され、総合的な対策をまとめ、政府への提言を行うことが打ち出された。同年に国は孤独・孤立対策の担当大臣を任命し、孤立問題だけではなく、孤独も政策のなかに取り込んで検討され、政策課題として位置付けられた。

本研究では、将来の日本における孤独・孤立対策のあり方について考察する。そのため、2018年に担当大臣を任命し、孤独に関するデータを蓄積した上で政策を進めているイギリスの取り組みを参考にする。イギリスでは、社会的孤立の解消を通じて、健康に深刻な影響を及ぼす孤独を軽減することを目指している。さらに、中央政府の取り組みに先立ち、地方自治体や非営利団体が行っている孤独・孤立対策の実績にも注目する。そこから得られた知見や経験を日本に与える示唆として検討する。

2. 研究の視点および方法

本研究は文献研究であり、高齢者の孤独・孤立に焦点を当てる。高齢者は年齢を重ねるにつれて生活の中で支援が必要となる場面が増えるが、孤独や孤立がその支援を受ける妨げになることがある。孤立状態に陥ると、利用可能な制度やサービスに関する情報が届きにくくなり、周りにはその人が支援を必要としていることに気づく人も少なくなる。孤独を感じていると、支援が提案されても断ったり、支援者との信頼関係を築くのに時間がかかったりすることがある。適切な支援につながらない状態が続くと、心身の状態が共に低下し、さらに悪化する可能性がある。一方で、孤独や孤立を解消できれば、住み慣れた地域で適切な支援を受けながら、安心して自分らしい生活を最期まで送ること期待できる。

3. 倫理的配慮

本研究は人を対象とする研究ではないが、「日本社会福祉学会研究倫理規定」を遵守し、規定に示している項目に抵触しないことを確認している。なお、本発表に関連して、開示す

べきCOIはない。

4. 研究結果

測定手法の開発において重要なのは、孤独を評価するための正確な手法を確立することである。日本では「孤独」という言葉が「ソリチュード」と「ロンリネス」の両方を含む幅広い意味で使用されている。直接的指標である「孤独を感じる頻度」を尋ねる場合、回答者の思い浮かべる「孤独」のイメージは人それぞれ異なる可能性がある。また、孤独を恥じる先入観が回答に影響を与えることも考えられる。

一方、孤立に関しては、既存の調査結果を有効に活用することが重要である。現在、会話の頻度や組織への所属、信頼できる人の有無などを評価する調査が行われている。これらの情報に基づき、総合的に孤立を判断し、危険水準と見なされる孤立の基準を設定する必要がある。

日本では、地域包括支援センターの職員や民生委員・自治会役員などが、独居高齢者宅などを訪問するケースが多いが、職務・任務として支援を行う側と、支援を受ける側の関係は対照的になる傾向がある。孤独や孤立を解消するための初期段階では、相談援助の技術を持つ人が対応し、会話や交流を通じて当事者の自信を回復させ、活動的な生活を支援する。その後、孤独や孤立を抱える当事者同士がお互いに関係を築いていくことができれば、専門職や研修を受けたボランティアなどの人材を効率的に活用できると考えられる。

5. 考察

まず、測定の指標に関しては、間接的指標を使うことで「人との付き合いがない」「取り残されている」「他の人たちから孤立している」といった実際の経験を評価することが有益である。直接的指標と間接的指標を併用することで、「孤独」という概念の捉え方の多様性を理解し、より精緻な分析が可能になると考えられる。

そして、実際に調査を行う際に、同じ対象者に対して定期的な調査を行い、医療や介護の記録と関連付けて受診や要介護の状況との関連性を分析することが重要である。健康や生活への影響が深刻になる事例を特定し、解消を目指すための孤立の基準を設ける必要がある。

一方で、「世話をする側」と「世話になる側」の関係が固定化されることは、支援を必要とする人が負い目を感じることももたせている。孤独・孤立を抱える人のなかには、他人の世話になりたくない、迷惑をかけたくないという気持ちが特に強い人も多く、この心理が支援を受けることへの抵抗感を高め、支援を拒むことにつながっていると考えられる。当事者同士が共に課題解決を図ることは、単に人員の有効活用だけでなく、支援者と支援対象者の間に固定された関係性を超えて推進する必要がある。